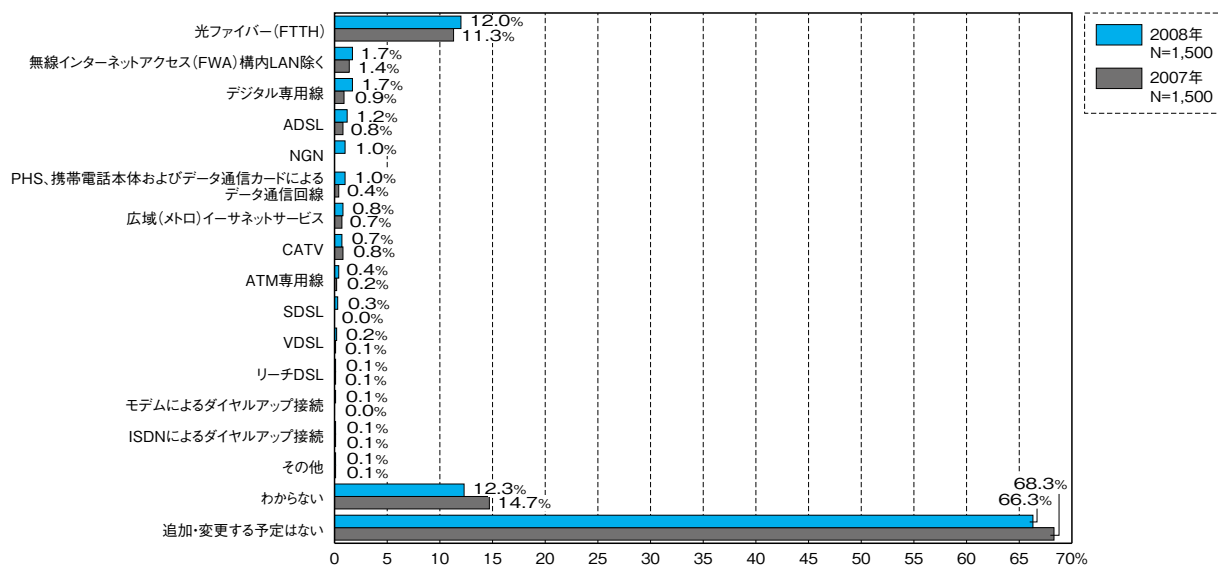


通信回線 / 通信速度

■ 66.3%が通信回線を追加・変更する予定はない

資料 7-8-3 今後1年以内に採用したい通信回線(単一回答) [2007年-2008年]

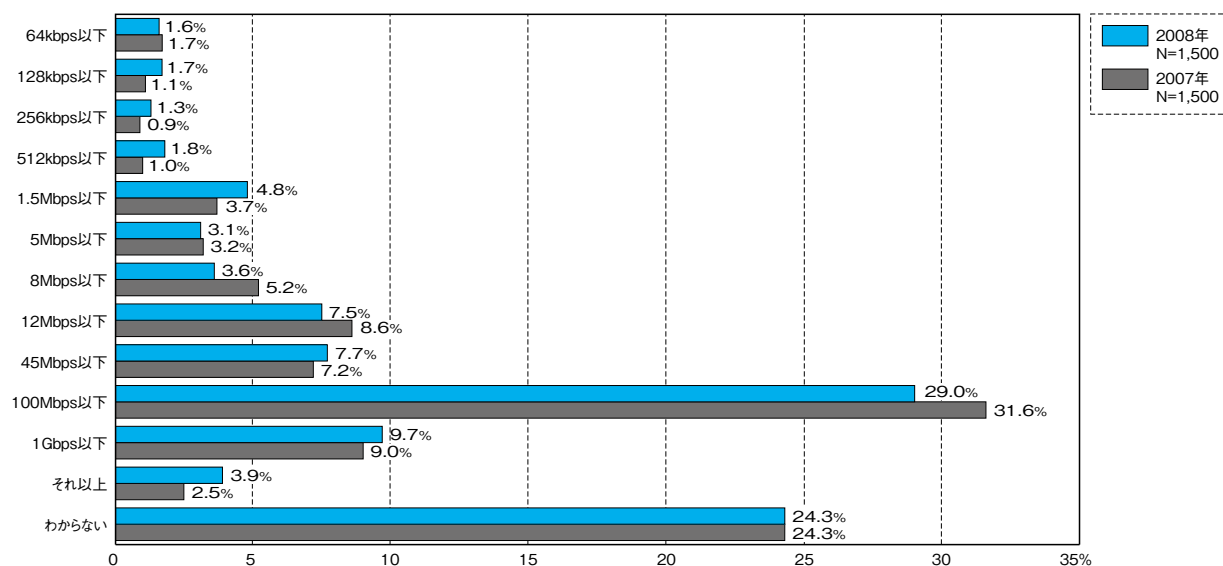


今後1年以内に採用したい通信回線では「追加・変更する予定はない」が66.3%で最も高く、多くの企業は現状の通信回線を継続利用する意向を示している。追加・変更する場合は「光ファイバー (FTTH)」が12.0%で最も高い。

©impress R&D, 2008

■ 最大通信速度は100Mbps以下が29.0%

資料 7-8-4 インターネット接続回線における最大通信速度(単一回答) [2007年-2008年]



契約しているインターネット接続回線の最大通信速度(帯域幅)をみると、利用している通信回線で光ファイバーの比率が高いこともあり、光ファイバーの標準的な帯域幅である「100Mbps以下」が29.0%で最も高い。デジタル専用線などそれ以上の帯域幅となる「1Gbps以下」が9.7%で続いている。

©impress R&D, 2008



[インターネット白書 ARCHIVES] ご利用上の注意

このファイルは、株式会社インプレスR&Dが1996年～2012年までに発行したインターネットの年鑑『インターネット白書』の誌面をPDF化し、「インターネット白書 ARCHIVES」として以下のウェブサイトで公開しているものです。

<http://IWParchives.jp/>

このファイルをご利用いただくにあたり、下記の注意事項を必ずお読みください。

- 記載されている内容（技術解説、データ、URL、名称など）は発行当時のものです。
- 収録されている内容は著作権法上の保護を受けています。著作権はそれぞれの記事の著作者（執筆者、写真・図の作成者、編集部など）が保持しています。
- 著作者から許諾が得られなかった著作物は掲載されていない場合があります。
- このファイルの内容を改変したり、商用目的として再利用したりすることはできません。あくまで個人や企業の非商用利用での閲覧、複製、送信に限られます。
- 収録されている内容を何らかの媒体に引用としてご利用される際は、出典として媒体名および年号、該当ページ番号、発行元（株式会社インプレスR&D）などの情報をご明記ください。
- オリジナルの発行時点では、株式会社インプレスR&D（初期は株式会社インプレス）と著作権者は内容が正確なものであるように最大限に努めました。すべての情報が完全に正確であることは保証できません。このファイルの内容に起因する直接的および間接的な損害に対して、一切の責任を負いません。お客様個人の責任においてご利用ください。

お問い合わせ先

株式会社インプレス R&D

✉ iwp-info@impress.co.jp